



平成30年8月2日

各 位

会 社 名 トレーダーズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 金丸 勲
(JASDAQ・コード 8704)
問合せ先 取締役 加藤 潤
(TEL 03-4330-4700 (代表))

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、本日、関東財務局へ提出しました平成30年3月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備がある旨を記載いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社は、平成30年6月14日付「外部調査委員会の設置に関するお知らせ」に記載のとおり、当社が平成27年12月1日に実施した株式会社ZE エナジー(以下「ZE エナジー」といいます。)を完全子会社とする株式交換に関するのれんの減損損失計上の時期・内容の妥当性、『安曇野バイオマスエネルギーセンター』の契約解除に伴い撤去した材料貯蔵品の資産性に関する評価の妥当性、工事進行基準の適用に関する妥当性及び完成工事補償引当金計上に関する適正性などに係る会計上の誤謬並びに当社有価証券報告書における関連当事者との取引に係る開示の適切性について、外部の専門家により構成される外部調査委員会による調査を進めてまいりました。その結果、本日付「外部調査委員会の調査報告書(中間)公表と今後の対応に関するお知らせ」にも記載のとおり、外部調査委員会から、平成30年3月期の会計処理において、のれんの減損損失計上の時期及び減損金額、契約解除に伴い撤去した材料貯蔵品の評価額等の会計処理について誤謬があったこと等が報告されました。

外部調査委員会の調査結果を受け、当社では、これらの会計上の誤謬の修正が必要であると判断し、平成29年3月期以降の決算を修正し、平成29年3月期有価証券報告書並びに平成30年3月期第1四半期、第2四半期及び第3四半期の四半期報告書に係る訂正報告書等を提出いたしました。併せて、平成25年3月期から平成28年3月期の有価証券報告書について訂正報告書を提出しております。

上記の会計処理において会計上の誤謬が生じた主な要因は、当社の子会社管理が必ずしも子会社の事業特性に応じた十全なものとなっていなかった中で、当社の経営陣・財務部門が当社子会社であるZE エナジーで発生した契約解除という非定型的な事象が当社グループの連結決算・財務報告に及ぼす影響について適時適切に判断できなかったこと、ZE エナジーによる材料貯蔵品の評価の妥当性に関する同社経営陣及び当社財務部門等による確認・牽制が十分に機能しなかったことにあります。

以上のことから、当社における全社的な内部統制及び決算・財務プロセスに関する内部統制の不備は、当社の財務報告に重要な影響を及ぼすこととなり、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。

2. 事業年度末日までには是正できなかった理由

上記事実は当事業年度末日後に確定したため、当該財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備を当事業年度末日までには是正することができませんでした。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を強く認識しており、外部調査委員会の調査報告書に示された原因分析等を踏まえ、財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備の是正に向けた方針及び以下の項目を中心とする再発防止策を策定し、適正な内部統制の整備及び運用を図ってまいります。

- ① 財務会計の専門性の高い最高財務責任者（CFO）の選任、外部専門家の活用等、当社財務部門の体制強化
- ② 事業の特性に応じた適切な子会社管理の実施
- ③ ZEエナジーにおける業務プロセスのモニタリング機能及び経理担当部署の強化
- ④ 内部統制評価実務を担う内部監査部門の強化

なお、財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備の是正に向けた具体的な諸施策につきましては、外部調査委員会の最終調査結果の提出を受けた後、あらためて策定してまいります。

4. 連結財務諸表に与える影響

上記の開示すべき重要な不備に起因する必要な修正事項は、すべて平成30年3月期の有価証券報告書に反映させており、当該連結財務諸表に与える影響はありません。

5. 連結財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見です。

以 上